

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第2回安塚区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○協 議（公開）

（1）令和3年度地域活動支援事業の審査（プレゼンテーション）について

### ○その他（公開）

## 3 開催日時

令和3年5月18日（火）午後7時から午後9時22分まで

## 4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委 員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二

外立正剛、秦克博、松苗正二、松野修、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 岩野所長、大島次長、石川市民生活・福祉グループ長

（併教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任

## 8 発言の内容（要旨）

### 【大島次長】

・会議の開会を宣言

・山岸重正委員の欠席を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【松苗正二会長】

・挨拶

### 【大島次長】

本日の会議録の確認は、内規により松苗正二会長にお願いする。

条例第8条第1項の規定により、松苗正二会長から議長を務めていただく。

**【松苗正二会長】**

それでは、次第3協議事項（1）令和3年度地域活動支援事業の審査（プレゼンテーション）について、から議事を進めていく。事務局に説明を求める。

**【萬羽主任】**

資料No. 1に基づき、プレゼンテーションの進め方について説明。

**【松苗正二会長】**

事務局から説明があったが、何か御質問等あるか。

（質問なし）

御質問等なければ、これから提案団体によるプレゼンテーションを開始する。

最初は「行野自治会」提案の『横尾義智記念館管理事業』についてのプレゼンテーションである。

（行野自治会入室）

**【行野自治会】**

事業提案書に基づき、『横尾義智記念館管理事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

**【池田康雄委員】**

看板についてお聞きしたい。事前の質問票の中で、「設置する予定の看板は道路から見えやすい場所にあるか」という質問があり、それに対する回答が「道路から確認可能な場所である」というものであった。私が昨日15時30分頃に現場を見に行ったところ、提案書に添付されている看板のイメージ図の場所は2、3メートルくらいの斜面になっており、道路から見えないように感じた。もっと道路の近くに立てるのであれば、そこから記念館に入っていくということが分かるが、設置予定の場所では敷地内に立てることになるため、誘導になるのか疑問に感じる。そこに立てるくらいなら既存の小看板で事足りると思う。あるいは、既存の集落看板の裏面に非常に良い文章が色々と書かれているので、内容を整理して書き直す方が有効ではないか。

**【行野自治会】**

倉庫と勘違いして記念館の前を通り過ぎてしまうという事例がこれまで何件か発生している。記念館の前に看板を立てることにより、そこで立ち止まって記念館に確実に入ってもらえると考え、今回看板の設置を提案したものである。間違った方がいるので何

とかしてもらいたいという内容が記帳ノートにも書かれており、行野自治会として看板設置の必要性を感じている。

【松苗正二会長】

今ほどの回答で池田康雄委員はよろしいか。

【池田康雄委員】

もっと道路の近くに立てないと、今のお話にあったような人は間違ってしまうと思う。

【松苗正二会長】

行野自治会に確認したい。記念館を通り過ぎてしまうというのは、記念館の前まで辿り着いているにも関わらず、記念館の外観が倉庫のように見えるため、記念館であると認識できずに通り過ぎてしまう人がいるということで、そこに看板を設置したいという提案でよろしいか。

【行野自治会】

その通りである。

【松苗正二会長】

ほかに御質問等あるか。

【吉野誠一委員】

今回は提案団体があまりにも多く、できれば皆さんに事業を実施してもらいたいという個人的な思いがある。扱首受壁修繕と誘導看板設置のうち、どちらかを削らなければならないようなケースが出てくるかもしれない。その場合、どちらを優先されるか。

【行野自治会】

安全面からいえば扱首受壁修繕であるが、看板がないことで通り過ぎてしまう方がいる現状を考えると申し訳ないという気持ちもある。

【吉野誠一委員】

皆さんから少しずつ我慢してもらわないとうまく収まらない状況である。扱首受壁修繕を優先するという事でよろしいか。

【行野自治会】

それで結構である。

【萬羽主任】

時間となったので、以上で質問を終了とさせていただきます。

【松苗正二会長】

それでは、行野自治会のプレゼンテーションは以上で終了とする。

(行野自治会退室)

次は「安塚スキークラブ」提案の『安塚 j r アルペンスキークラブ育成事業』についてのプレゼンテーションである。

(安塚スキークラブ入室)

**【安塚スキークラブ】**

事業提案書に基づき、『安塚 j r アルペンスキークラブ育成事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があつたが、何か御質問等あるか。

**【松野修委員】**

ポールセットについてお聞きしたい。以前に地域活動支援事業を活用して、赤と青のポールを各30セット購入したという説明があつた。練習の時は何セットくらい使用するのか。

**【安塚スキークラブ】**

通常は赤と青のポールを各30セット使用している。レースシーンになると、その4倍の各120セット使用する。

**【松野修委員】**

そのうち壊れているものはあるか。

**【安塚スキークラブ】**

昨シーズンの練習により各10セットくらいが壊れてしまっている。

**【松野修委員】**

今回購入を予定しているのは各20セットということでよいか。

**【安塚スキークラブ】**

今回は各30セット購入を予定している。

**【松野修委員】**

承知した。

**【吉野誠一委員】**

先ほど行野自治会にもお聞きしたが、今回提案団体があまりにも多く、皆さんから少しずつ我慢してもらふことで、皆さんに事業を実施してもらいたいと考えている。例えばスタートワックスの分を削るとか、ポールを直しながら使用するといったことを検討してもらわなければいけないかもしれない。先ほどの説明では、タイム計測機の購入が最優先ということであつたが、何かを少し我慢してもらわなければならないというケー

スも覚悟いただきたい。

**【安塚スキークラブ】**

承知した。

**【池田裕夫委員】**

安塚スキークラブの皆さんはすごく頑張ってもらって、優秀な選手を毎年輩出されている。スピード競技だけではなく、もっと地元の子どもたちが楽しく参加できるような取組も進めていただければと思うが、いかがか。

**【安塚スキークラブ】**

安塚スキークラブとして、スキー人口の底辺拡大につながるような事業を展開していきたいという意見は役員会の中でも出ており、池田裕夫委員が言われたとおりレースシーンだけでなく、1級、2級といった技術シーンを求める子どもたちも最近増えてきている。そういった子どもたちに対して、安全なスキー、楽しいスキーを手軽に体験してもらえるような催しをキューピットバレイスキー場でも実際に開催している。例えば、初めてスキーをする子どもたちを無料で募集し、スキーを経験してもらおうといった企画などである。スキーに限らず、スノースポーツ全体を盛り上げていけるような取組を今後も続けていきたいと考えている。

**【松苗正二会長】**

タイム計測機について、お聞きしたい。この機械を使用するためには、アマチュア無線技士の資格が必要となるが、資格を持っている方は何名いるか。

**【安塚スキークラブ】**

役員会で把握している範囲では、役員の中に1名、クラブ員の中に1名の計2名である。その2名をスタートとゴールに配置すれば、計測機の使用は可能である。

**【松苗正二会長】**

使用するときは必ずその2名が操作するというところでよろしいか。

**【安塚スキークラブ】**

ジュニア部門の部長を務めている者がアマチュア無線技士の資格を有しているので、確実に現場にいる形をとりたいと考えている。

**【松苗正二会長】**

私が調べてみたところ、全国にはレシートで出るタイプの計測機があり、金額的には3分の1くらいの値段であった。そういった機械の購入を検討する考えはないか。

**【安塚スキークラブ】**

様々な機械を比較検討しており、実際に使用しているチームを見学させてもらった中で、今ほど松苗会長が言われたタイプの機械は故障が非常に多いという実績を確認している。購入後すぐに故障してしまった場合、クラブの財政事情からすぐに新しい機械を購入することは難しく、使用できない期間が生じてしまうのは望ましくない。購入時に多少値が張ってしまっても、長く使用できるものを購入したいと考え、今回の機種を選定している。

**【萬羽主任】**

時間となったので、以上で質問を終了とさせていただくが、事務局から1点確認したい。松野委員からのポールパーツのセット数についての質問に対して、各30セット購入するという回答であったが、見積書に記載のとおり各20セット購入ということによるのか。

**【安塚スキークラブ】**

先ほどの回答は誤りであった。各20セット購入が正しい。

**【松苗正二会長】**

それでは、安塚スキークラブのプレゼンテーションは以上で終了とする。

(安塚スキークラブ退室)

次は「安塚観光協会」提案の『マイクロツーリズム「体験と食」で誘客推進事業』についてのプレゼンテーションである。

(安塚観光協会入室)

**【安塚観光協会】**

事業提案書に基づき、『マイクロツーリズム「体験と食」で誘客推進事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

**【新保良一委員】**

2点お聞きしたい。1点目として、イベントの実施予定について、事業提案書を見ると、コロナ禍になる以前に実施していた都会の学校からの民泊に似たような点が多いと感じている。もう一步進んだ内容の事業を考えることはできないか。

2点目として、食事メニューの検討について、事前の質問票の中でもジビエ料理を提供する考えはないかとの質問があり、それに対して料理をする人がいないため、今後検

討していきたい旨の回答がなされていた。どこに行っても食べることができるような料理であれば、皆があまり感動しないと思う。今ジビエ料理がブームであると言っても、どこに行っても食べることができるものではない。安塚区内でもイノシシに困っている農家の人は多く、ジビエ料理を提供することで、地域の活性化にもつながっていくはずである。ぜひ、近い将来実施できるよう、検討していただきたい。

#### 【安塚観光協会】

まず体験イベントについてであるが、外部からすごい技術を持った方を呼んで行うものではなく、地域の方を講師として行うものであるため、これまで実施してきたものと同じではないかという御意見はそのとおりであると思う。ただ、それぞれの体験については、まだ広く普及しているものではないため、我々が今できるレベルのものということで、何回かイベントを重ねる中で少しずつ発展させていければと考えている。今回は、事業提案書に記載した内容を中心に進めていきたい。

2点目の食事メニューにおけるジビエ料理の提供について、特色のある料理であり、食品衛生法の関係から安塚区でとれたイノシシをすぐに提供することは難しいかもしれないが、しっかりとした施設で処理されたイノシシ料理をメニューの中に加えられるよう検討していきたいと思う。

#### 【松苗正二会長】

今ほどの回答でよろしいか。

#### 【新保良一委員】

結構である。

#### 【吉野誠一委員】

体験と食の提供ということになっているが、今世を挙げて会食の自粛に入っており、その辺りとの整合性をどう考えるか。また、貴団体は安塚観光協会という大きな団体であり、例えば料理と体験写真撮影委託や受付・設営運營業務委託といった委託費について、2つ合わせると結構大きな金額になるので、安塚観光協会で自己完結するということはできないものか。

#### 【安塚観光協会】

1点目のコロナ禍において自粛が求められる中、このような会食はいかがなものかという御質問について、おっしゃられる通り各施設では宿泊や宴会の予約がゼロというような状況になっている。もちろん安全でなければならず、人数を制限するなどの対策をとり、新型コロナウイルスの感染が広がらないよう、十分に配慮する必要がある。ただ、

何も行わないでいると、各会員の運営面で非常に厳しい状況になってしまう。コロナの収束後につなげるという面もあるので、感染防止対策に配慮したうえでメニューの開発と提案をしていきたいと考えている。

2点目のイベント受付・設営運営等の各業務委託を外部団体へ委託するのはいかななものかという御質問について、観光協会といっても構成員は各宿泊施設の方と雪だるま物産館の計10名以下という状況であり、実際に仕事をする人数は限られている。それぞれ本来の業務がある中で、この事業にのみ注力することは難しい。外部団体へ委託することにより、なんとか実施できるのではないかと考えている。

**【吉野誠一委員】**

身の丈に合った計画を立てるべきではないか。それから、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）については、どのように考えているか。

**【安塚観光協会】**

新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）については、不具合が発生しているという報道もある。

**【吉野誠一委員】**

Android端末でも不具合は既に解消されている。

**【安塚観光協会】**

人々が交流するイベントであるので、それぞれの会場において人数を制限するなど、感染防止対策に配慮したうえで実施していきたいと考えている。

**【松苗正二会長】**

時間となったので、安塚観光協会のプレゼンテーションは以上で終了とする。

（安塚観光協会退室）

次は「「小さな祭り」実行委員会」提案の『やすづか「小さな祭り」開催事業』についてのプレゼンテーションである。

（「小さな祭り」実行委員会入室）

**【「小さな祭り」実行委員会】**

事業提案書に基づき、『やすづか「小さな祭り」開催事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

**【池田康雄委員】**

昨年度、1,000個を超えるくらいの非常に多くの灯ろうを展示していたと思う。



今年度は感染防止対策などでLEDキャンドルライトの個数が300個となっているが、少くないか。小学校や中学校など各施設に灯ろう制作の協力を呼びかけるのであれば、もっと多く必要になると思う。たくさん集まったら雪のまちみらい館だけでなく、ほかの会場に展示しても良いと思う。ろうそくも併用するのであれば、別であるが。

**【「小さな祭り」実行委員会】**

ろうそくを紙パックの中に入れるのは現実的に厳しいため、LEDキャンドルライトを使用することになる。料理やお酒の提供がどうなるか分からないため、LEDキャンドルライトの個数を増やすことも検討できるかもしれないが、現時点では提案書に記載の個数での実施を考えている。

**【松苗正二会長】**

池田康雄委員は今ほどの回答でよろしいか。

**【池田康雄委員】**

結構である。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

**【吉野誠一委員】**

運営・設営等の業務を外部団体へ委託する予定となっているが、貴団体の中で自己完結することはできないものか。

また、秋に雪中貯蔵施設「ユキノハコ」で会食の実施が予定されているが、現在の状況から会食の自粛も視野に入れていただきたい。今回提案団体があまりにも多く、どこかで我慢してもらうことになる部分が出るかもしれないという点も踏まえ、回答いただきたい。

**【「小さな祭り」実行委員会】**

自己完結とは、どのような形を意味しているものか。

**【吉野誠一委員】**

運営や設営などは自分たちでできないか。

**【松苗正二会長】**

外部団体へ委託するのではなく、自分たちですべきでないかということである。

**【吉野誠一委員】**

例えば、「ユキノハコ」秋まつりについて、まつり運営・設營業務委託5万円、カフェ・食事運營業務委託9万円となっている。このような見積を見ると、もし自分たちでこれ

を実施できれば、この分の経費が浮くので、両方のまつりが開催できるのかなと思ったりする。

**【「小さな祭り」実行委員会】**

コロナ禍のため、カフェ・食事運營業務委託については、検討が必要であると考えている。写真募集・展示業務委託について、会員はそれぞれ仕事を持ちながら活動しているので、全てを自分たちで実施することは難しい。委託費について、自分たちで実施することができる部分がないか、削れる部分がないか、検討が必要であると思う。コロナの感染状況も踏まえ、料理・お酒の提供を1日だけにするなど、実施の規模の縮小も検討するようにしたい。

**【吉野誠一委員】**

承知した。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

(質問なし)

体験イベントの実施について、昨年度から継続している内容であり、外部の方への講師の委託は不要であるというお考えはないか。

**【「小さな祭り」実行委員会】**

講師がいなくても慣れていれば良いと思うが、カッターを使用するので、講師が全くいない状態というのは安全面で疑問が残る。小学校で誰も教える人がいない状態の中、勝手に作ってくださいというのは成り立たない。講師を付けてもらいたいというお話はある。

**【松苗正二会長】**

昨年度も実施されているので、そこに携わった方が講師となって実施することはできないのか、ということである。

**【「小さな祭り」実行委員会】**

募集をする中でどなたが作り方を承知されているかは把握できない。イベントとして実施するのであれば、講師がいないと難しいと考えている。

**【松苗正二会長】**

時間となったので、「小さな祭り」実行委員会のプレゼンテーションは以上で終了とする。

(「小さな祭り」実行委員会退室)

次は「上方自治会」提案の『高齢者にここサロン支援事業』についてのプレゼンテーションである。

(上方自治会入室)

【上方自治会】

事業提案書に基づき、『高齢者にここサロン支援事業』の事業内容を説明。

【松苗正二会長】

事業内容について、説明があつたが、何か御質問等あるか。

【小松光代委員】

ボッチャをレクリエーションとして実施する場合、コートของ広さなどは自分たちで決めて良いのか。それが可能であれば、集会所でも実施できるのではないかと思う。

【上方自治会】

可能である。

【小松光代委員】

私が講習を受けた時は、正式なコートでの説明だったため、提案書を見てどこで行うのかと思い、質問した。それでは、縮小版として手軽に集会所などで実施できるということが良いか。

【上方自治会】

良いと思う。

【小松光代委員】

指導者やコートの確保に費用がかかるのではないかという風に余計な心配をしてしまった。そういう点は問題ないということが良いか。

【上方自治会】

パラリンピックの正式種目としては、コートの広さやボールの投げ方など細かいルールがあり、セットの購入にも数十万という費用がかかる。それ以外にレクリエーションとして楽しむための簡易なセットも販売されており、今回提案しているのはそちらの安価なものである。また、今回購入する予定のセットの中にレクリエーション用の小さいコートも含まれているため、それを活用する。集会所などで広げて十分使用できるものである。

【松苗正二会長】

ほかに御質問等あるか。

**【新保良一委員】**

事業の対象者についてお聞きしたい。提案書では、上方地区とその周辺の住民と記載されている。周辺とは、どの程度までの範囲を指すのか教えていただきたい。

**【上方自治会】**

まずは上方にここサロンで事業を行い、うまくいったら上方、本郷、石橋地区に福寿会という会があるので、そのような会の方々や子ども会とも交流できればと考えている。事前の質問票でも「他の町内会等から備品の貸出依頼があった場合、貸出可能か。」という質問があった。皆さんと一緒に楽しみたいと考えているので、興味のある方がいらっしゃれば、ぜひ声をかけていただきたい。

**【新保良一委員】**

せっかく良いゲームの道具を購入されるので、近隣の地域の方々だけではもったいないように感じる。実際に参加されるかどうかは別として、少なくとも安塚区全域の高齢者の方々に周知を行うというお考えはないか。

**【上方自治会】**

上方自治会で慣れてきたら、市の広報を活用するなど何らかの形で皆さんにお知らせを行い、一緒に楽しみたいと思う。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

(質問なし)

それでは、上方自治会のプレゼンテーションは以上で終了とする。

(上方自治会退室)

当初の予定では、ここで10分間の休憩を挟むことになっているが、時間が少し押し込んでいる状況である。5分ほど休憩を挟むということによろしいか。

(「はい」の声多数)

(5分間休憩)

次は「朴の木自治会」提案の『天空の里づくり推進事業』についてのプレゼンテーションである。

(朴の木自治会入室)

**【朴の木自治会】**

事業提案書に基づき、『天空の里づくり推進事業』の事業内容を説明。

【松苗正二会長】

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

【池田康雄委員】

事前の質問票でも質問があったが、看板についてお聞きしたい。鉄枠は既存のまま、中の絵のみを更新するということか。

【朴の木自治会】

当初はその予定であったが、業者に現地を確認してもらった結果、腐食もみられるため、ペンキを塗るだけでは不十分であるということであった。見積書もそのような内容になっている。

【池田康雄委員】

もう1点お聞きしたい。看板のイメージ図として、「清流と天空の里 朴の木」というものと「またお会いできることを楽しみにしております。」という文章が書かれているものがあるが、これはそれぞれ表面と裏面ということか。

【朴の木自治会】

これまでは表面のみの看板であったが、せっかく更新するのであれば裏面も作りたかった。ただ、文言については、まだ確定していない。今後検討する中で多少文言が変更となる可能性もある。天空の里ではなく、天空の花畑の方が良いのではないかと意見もある。絵については、提案書に添付したもので進める予定である。

【池田康雄委員】

「またお会いできることを楽しみにしております。」という文章の英語表記は必要か。外国人が来ることもあるのか。

【朴の木自治会】

今はどこにでも来ると思う。

【松苗正二会長】

ほかに御質問等あるか。

(質問なし)

それでは、朴の木自治会のプレゼンテーションは以上で終了とする。

(朴の木自治会退室)

次は「上越若者みらい会議」提案の『安塚区U-40 社会人サークル立上げ事業』についてのプレゼンテーションである。

(上越若者みらい会議入室)

**【上越若者みらい会議】**

事業提案書に基づき、『安塚区U-40社会人サークル立上げ事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

**【中村真二委員】**

皆さんは、若い人たちを集めて精力的に活動されており、私はわりと実績を知っているが、安塚区の方にはまだあまり馴染みがないと思うので、もう少し詳しく活動内容をお聞きしたい。特にアクティブスポーツ協会との関係などを教えていただきたい。彼らは、私から見ても相当魅力的な若い人たちがたくさんいらっしゃるのので、今回の提案事業にどのように関わってくるのか知りたい。

**【上越若者みらい会議】**

上越若者みらい会議として、最初に立ち上げた団体が今ほどお話のあった上越アクティブスポーツ協会である。一般社団法人として、昨年度法人格を取得した。スケートボード、BMX、ボルダリングなど、今回オリンピックの新種目となる競技を楽しむことができる施設が上越市内にあれば、それらのニュースポーツがより盛り上がり、上越市も注目されるのではないかと考え、市に対して施設の設置を要望したが、なかなかすぐに応えてもらうことができなかった。そこで、まずは仲間を募り、上越ウイングマーケット内に自分たちで体験の場を手作りで作り始め、現在5年目を迎えた。昨年度、法人格を取得し、火曜日と木曜日を除いて常時オープンしているパークと呼ばれる施設を運営している。各競技の元プロやセミプロの選手から理事メンバーを務めてもらい、ここまで活動してきている。今回の『安塚区U-40社会人サークル立上げ事業』に関しては、ウインタースポーツが好きなメンバーも多いので、深く携わってもらうわけではないが、応援してもらっているという形である。実際に昨年度実施したイベントでは、参加者の中に全くスキーやスノーボードの経験がない方も10名ほどいたため、アクティブスポーツ協会のメンバーから指導を手伝ってもらった。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

**【吉野誠一委員】**

これは、気の合う人たちが集まり、一緒にウインタースポーツ楽しむという事業であるように感じるが、そこから次はどういう風に発展させていく考えなのか。まちづくりにつなげていきたいとも書かれているが、その点に関して実績はあるのか。

**【上越若者みらい会議】**

実際に立ち上げた安塚区の準備会のメンバー約50人の中に安塚区在住のメンバーはいないが、安塚区出身で合併前上越市内に住んでいるメンバーは数名いる。我々も安塚区のことを全て知り尽くしているわけではないが、そういったメンバーが中心となって、安塚区の良いところを学び、キューピットバレイだけではない安塚区の魅力を発信していけるようなイベントを数年かけて実施していきたいと考えている。

**【吉野誠一委員】**

承知した。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

**【池田康雄委員】**

失礼ながら私はあなた方のことをよく存じていない。代表の方は会社員の方なのか、それとも何かの競技のプロの方なのか。

**【上越若者みらい会議】**

私は市内で整体院とパーソナルジムを経営している。関根学園の近くにボディメイクサロンがある。ウインタースポーツは元々大好きであるが、プロと名乗れるものではない。

**【松苗正二会長】**

時間となったので、上越若者みらい会議のプレゼンテーションは以上で終了とする。

(上越若者みらい会議退室)

次は「山のうへの雪まつり実行委員会」提案の『山のうへの雪まつり事業』についてのプレゼンテーションである。

(山のうへの雪まつり実行委員会入室)

**【山のうへの雪まつり実行委員会】**

事業提案書に基づき、『山のうへの雪まつり事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

**【新保良一委員】**

私は毎年この事業を拝見させてもらっている。事業自体が良いものであることは間違いないが、私が一番感心しているのは、若い人たちが何十人も集まり、一生懸命一つになって事業を達成させようとしている姿である。指導者が良いのかもしれないが、その

姿に大変感動している。それだけ若い人たちが頑張っているから、年1回の単発のイベントではもったいないように感じる。皆さん仕事もあって忙しいのは重々承知しているが、あれだけの実行力を持っているのであるから、安塚区をさらに発展、活性化させるために定期的なイベントを実施することができないものか、検討いただければと思う。単発ではなく、持続性のあるもので年間を通して年何回かのイベントを実施する形でも良いし、事業であれば尚更良いと思うが、その辺りのお考えはいかがか。

**【山のうへの雪まつり実行委員会】**

昨年度はコロナ禍で何もできない状況であったが、一昨年度は山のうへの夏まつりということでキューピットバレイを会場にイベントを実施していた。お盆前で暑い時期にも関わらず、これだけの人が集まるのかと思うほど大勢の人にお越しいただいた。コロナ禍でなかなかイベントを企画しづらい状況であるが、感染が収束すれば何か企画したいという思いは持っている。今、人を集めて何かをするというのはハードルが高く、飲食を提供するとなるとさらに制限がかかる。しかし、先ほどの新保委員の御意見のようなお声もいただいているので、私たちとしてもできることから始めていきたい。今夏はキューピットバレイでもグランピングなどの取組を始めるといってお話も聞いているので、協力していければと思う。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

**【池田裕夫委員】**

事業費が全体で200万円となっているが、提案書に添付されている打ち上げ花火に係る2社目の見積書と事業費の内訳にある自主財源の数字が一致していないように思う。

**【山のうへの雪まつり実行委員会】**

打ち上げ花火の見積書に関しては、10万円を超えるため、複数社から徴したものである。

**【池田裕夫委員】**

承知した。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

(質問なし)

それでは、山のうへの雪まつり実行委員会のプレゼンテーションは以上で終了とする。

(山のうへの雪まつり実行委員会退室)



次は「安塚大島レッドウィングス」提案の『ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業』についてのプレゼンテーションである。

(安塚大島レッドウィングス入室)

**【安塚大島レッドウィングス】**

事業提案書に基づき、『ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

**【吉野誠一委員】**

ユニフォームと横断幕の2点を購入するという内容で提案されているが、今回提案団体が多く、優先順位としてはユニフォームの方が高いということによろしいか。場合によっては、横断幕の購入を次年度以降に回すということでも差し支えないか。

**【安塚大島レッドウィングス】**

子どもたちに最も関係するものはユニフォームであり、新しいユニフォームで試合に出場させてあげたいという思いが強い。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

**【中村真二委員】**

クラブのメンバーについて、安塚区が4人、大島区が3人ということであったが、学年の内訳を教えてください。

**【安塚大島レッドウィングス】**

6年生が2人、4年生が2人、3年生が2人、2年生が1人である。6年生が2人抜けると試合に出場できない状況である。

**【池田康雄委員】**

先ほどユニフォームを見せてもらったが、試合の時は安塚と大島のメンバーで別々のユニフォームを着用しているということか。

**【安塚大島レッドウィングス】**

今は全員が安塚のユニフォームを着用している。

**【池田康雄委員】**

卒業生のお下がりということか。

**【安塚大島レッドウィングス】**

ユニフォームはチームで所有している。ユニフォームは全員揃っていれば、一応どのようなものでも良いことになっている。上の大会に進んでも良いように県名が入っているこのユニフォームを優先的に着用するようにしている。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

(質問なし)

それでは、安塚大島レッドウィングスのプレゼンテーションは以上で終了とする。

(安塚大島レッドウィングス退室)

最後は「細野町内会」提案の『自然王国ほその村・四季彩散策（巡り）事業』についてのプレゼンテーションである。

(細野町内会入室)

**【細野町内会】**

事業提案書に基づき、『自然王国ほその村・四季彩散策（巡り）事業』の事業内容を説明。

**【松苗正二会長】**

事業内容について、説明があったが、何か御質問等あるか。

**【池田康雄委員】**

四季彩散策マップについて、26万円近くかけて3,000枚作成する計画となっている。細野といっても、ものすごく広域で集落の外にも棚田などの原風景が広がっていると思う。先日、大島から広域農道を通って安塚へ帰ってこようとしたが、1時間走っても辿り着かず、どこを走っているのか分からないくらいであった。集落の中よりも外れの方に原風景が多くあると思うが、集落の人以外は迷ったら二度と戻ってこれない可能性もゼロではないと思うので、もっとディレクションサインの数が多くても良い気がする。そういったことも加味して、散策マップやディレクションサインを見た時に今自分がどこにいるのか、どれくらい歩けば六夜山荘まで戻れるのか、といったことが分かるようなものにしてもらいたいと思うが、いかがか。

**【細野町内会】**

確かに広域ではあるが、重複する道も多く、予算の関係もあることから、ディレクションサインは必要最小限の個数としている。もし、迷ってしまう方がいるようであれば、手作りの看板を作ることも検討したいと思う。

土日になるとカメラマンやオートバイで来訪される方も多く、六夜山の駐車場で休憩している。これまで集落住民は気が付かなかったが、非常に景色がいいところが多いので、コースを作ったたくさんの方から訪れてもらいたいと考えた。

**【松苗正二会長】**

ほかに御質問等あるか。

**【池田裕夫委員】**

事前の質問票の中で事業内容の優先順位を問う質問があり、四季彩散策マップの作成が一番という回答であった。今回提案団体が多く、他の団体にも同様の質問をしているところであるが、提案書に添付されているようなマップでも十分ではないかと感じた。立派なマップでなくとも、もう少し工夫すれば自作のものでも良いと思うが、いかがか。

**【細野町内会】**

そこまでは考えていなかった。一昨年度にホームページを更新しているが、今回のマップ作成についても業者への委託を想定している。

**【吉野誠一委員】**

テントはどのように活用される予定か。

**【細野町内会】**

テントについては、六夜山荘の庭に立てて、星空観察など気軽にアウトドアを楽しむことができるよう、活用したいと考えている。

**【松苗正二会長】**

時間となったので、細野町内会のプレゼンテーションは以上で終了とする。

(細野町内会退室)

以上で全ての提案団体のプレゼンテーションが終了した。引き続き個人審査として採点票の記入に移る。事務局から説明をお願いします。

**【萬羽主任】**

採点票の記入方法等について説明。

**【松苗正二会長】**

事務局から説明があつたが、何か御質問等あるか。

(質問なし)

それでは、採点票を記入する時間であるが、概ね30分くらいということによろしいか。

【中村真二委員】

そんなに必要ないと思う。

【松苗正二会長】

何分くらいあれば良いか。

【新保良一委員】

15分くらいで良い。

【松苗正二会長】

それでは、15分を目途として声をかけさせていただく。

(15分経過後)

15分経過したが、まだ記入が終わっていない方はいるか。

(「もう少し時間が欲しい」との声あり)

まだ記入途中の方もいらっしゃるので、その間にいくつか確認させていただく。

まず、安塚区地域協議会としての審議内容について、確認を行う。事前に事務局へ審議依頼書の提出はあったか。

【大島次長】

事前の提出はない。

【松苗正二会長】

今回審議依頼書の提出はなしということで、審議依頼事項がある場合は、また次回協議会開催日の1週間前までに事務局へ提出をお願いしたい。

また、本日は会議終了後に自主的審議に関しての意見交換を予定していたが、時間も遅くなっているため、次回以降に持ち越しということでよろしいか。

(「はい」の声多数)

次に次回地域協議会の開催日を確認する。次回地域協議会は5月20日(木)午後7時から開催ということでよろしいか。

(「はい」の声多数)

(全委員が採点票の記入終了)

皆さん、採点票の記入が終了したようであるので、令和3年度地域活動支援事業の審査(プレゼンテーション)についての協議は以上で終了とする。

ほかに連絡事項等あるか。

【萬羽主任】

採点票の記入に不備等あった場合は、後日記入者に確認を行う旨を連絡。

【松苗正二会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線 23）

E-mail：[yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。